

# 軟カプセル剤の性状分類 早見表

## — 軟カプセル剤の分類と特徴 —

軟カプセル剤(内容物)の分類及びその特徴を示します。

分類	内容物の特徴
懸濁液、半固体	油性の不透明な半固形状物。
液体(油性)	油性の透明な液体。
液体(水性)	水性の透明な液体。
液体(マイクロエマルジョン)	透明な液体。水に滴下すると内容物が数百マイクロメートル程度の細かい粒子に分散する。

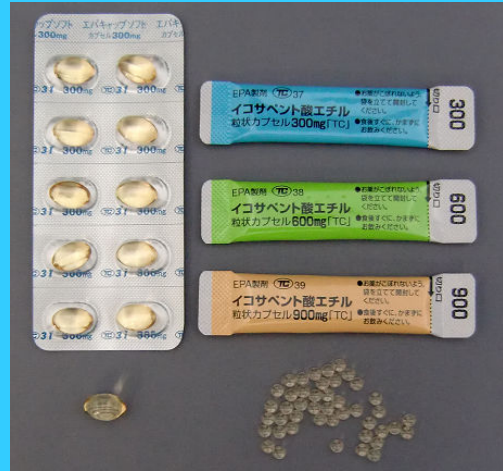
## — 代表的な軟カプセル剤 —

軟カプセル剤(内容物)の分類について、実際の軟カプセル剤(一例)を紹介します。



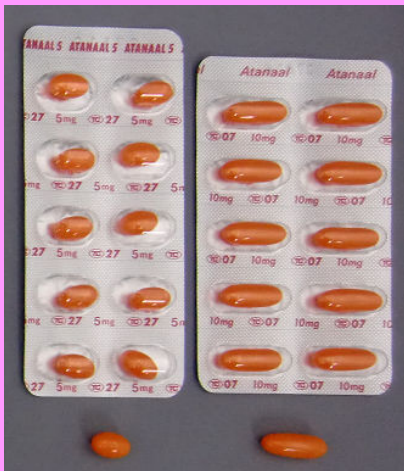
懸濁・半固形

(例.トコフェロールニコチン酸エステル製剤)



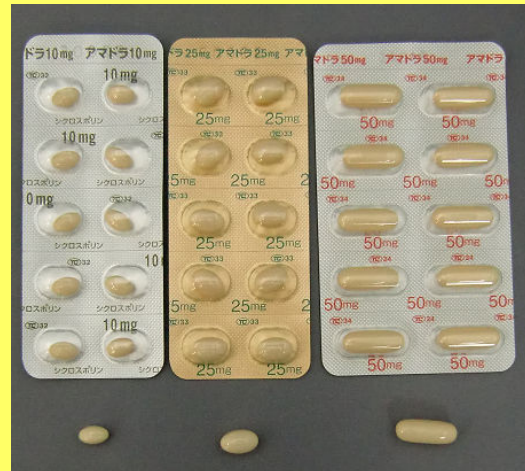
液体(油性)

(例.イサ<sup>®</sup>ト酸エ<sup>®</sup>ル製剤)



液体(水性)

(例.ニフェジピン製剤)



液体(マイクロエマルジョン)

(例.シクロスポリン製剤)

# 軟カプセル剤に使用される添加剤 早見表

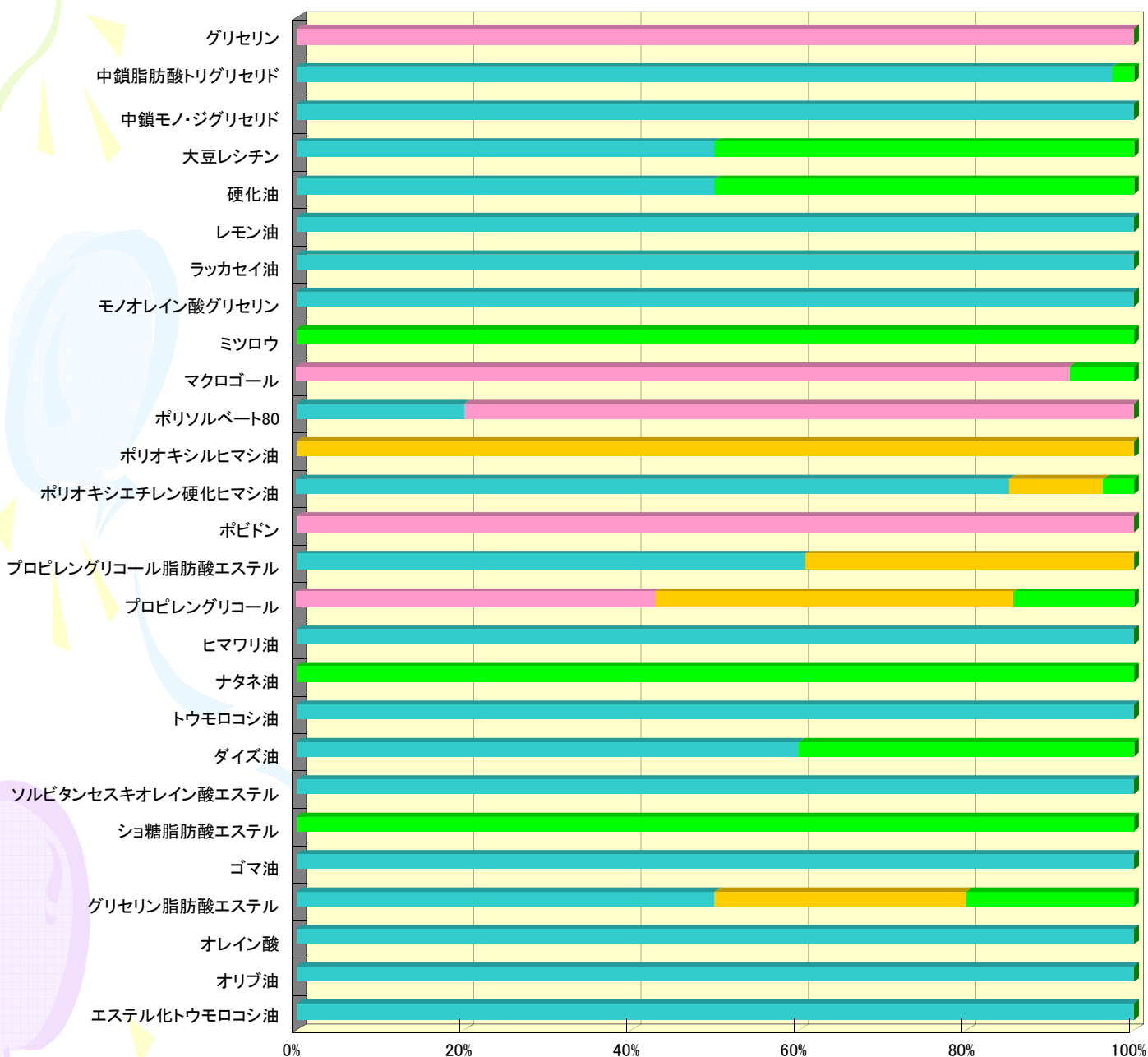
## — 軟カプセル剤に使用される添加剤と軟カプセル剤(内容物)の性状 —

軟カプセル剤は使用される添加剤により内容物の性状がわかれます。

今回、軟カプセル剤(内容物)の性状を4つに分類し、それぞれで使用される添加剤とその頻度を集計しました。知りたい製剤の添加剤を調べることで、早見表から軟カプセル剤(内容物)の性状を推測することができます。

### 軟カプセル剤(内容物)の分類

■ 懸濁・半固形 ■ 液体(油性) ■ 液体(水性) ■ 液体(マイクロエマルジョン)



(医療用医薬品 約18,000品目より集計)